

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【向小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	子どもが主体的に楽しみながら学び、自ら課題解決しようとする事ができる 資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)児童が成長を実感できる授業の実施。(2)児童が自分で選ぶ場面を設けた授業の実施。(3)児童が何度も試しながら学べる授業の実施。(4)児童が学んだことをつながりを見つめられる授業の実施。【(1)～(4)のいずれも、学校課題研究にて系統的に実践。時期は、一人当たり年2回の授業公開にて実施。】

ざらざら (橋元)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		調査の振り返り(4月)
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		調査結果分析(7月)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		さいたま市学習状況調査(5月)
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業
↓		
学力向上策の 見直し		中間評価(9月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所